

# 千葉県立病院新改革プラン検討会 参考資料

---

## 主要経営数値の状況と主な経営課題

平成28年 11月 10日

アイテック株式会社

# 目次

<b>I. 県立 6 病院の全体概要</b>	<b>2頁</b>
<b>II. 千葉県がんセンター</b>	<b>18頁</b>
<b>III. 千葉県救急医療センター</b>	<b>32頁</b>
<b>IV. 千葉県精神科医療センター</b>	<b>46頁</b>
<b>V. 千葉県こども病院</b>	<b>60頁</b>
<b>VI. 千葉県循環器病センター</b>	<b>80頁</b>
<b>VII. 千葉県立佐原病院</b>	<b>100頁</b>

# I .県立 6 病院の全体概要

---

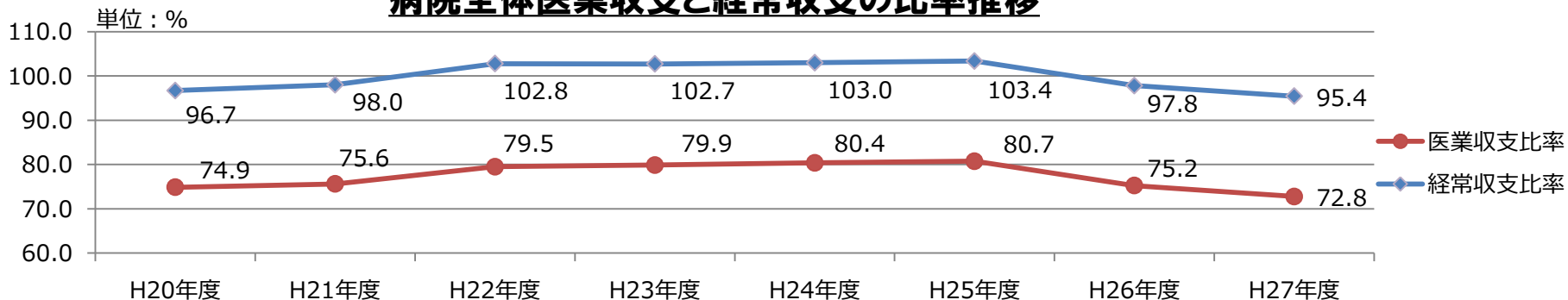
---

# 1. 収支等の推移

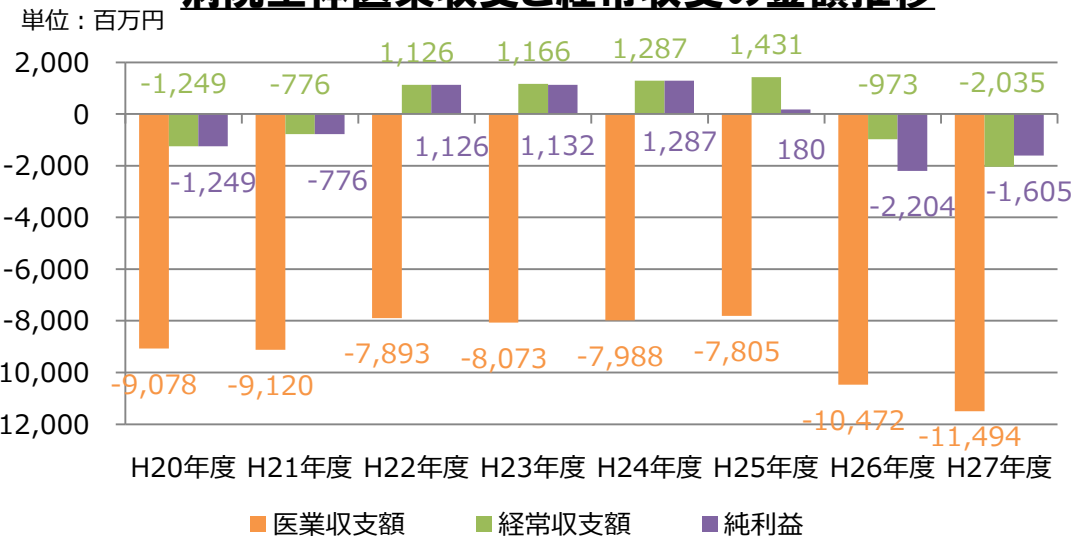
## 1) 県立病院全体の医業収支と経常収支

- ✓ 公立病院改革プランでは、前回の改革プランに引き続き『経常収支の黒字化』が求められている。県立病院全体では、平成22年度以降25年度までは『経常収支の黒字化』を達成してきた。しかし、平成26年度以降赤字に転じ、平成27年度は約20億の経常損失を計上している。
- ✓ 要因としては、医業収益ベースでがんセンターの約15億円の減収、佐原病院の約7億円の減収が挙げられる。

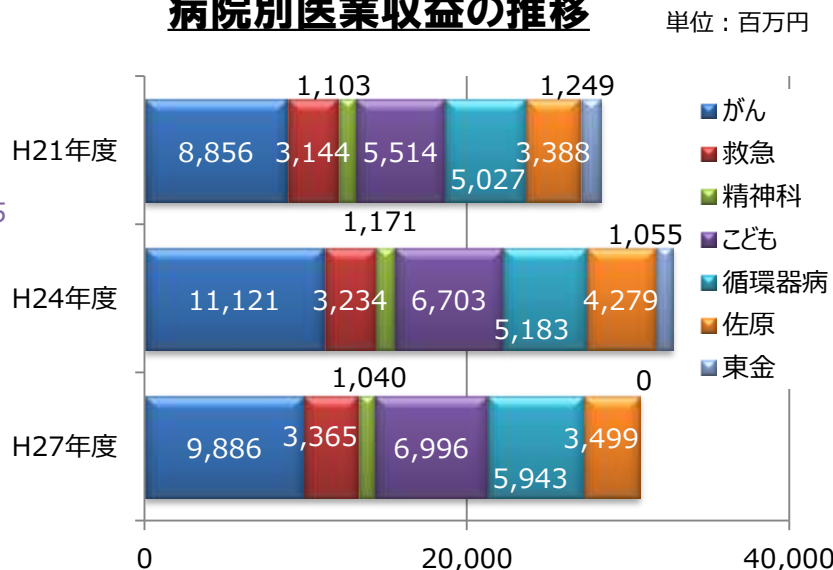
### 病院全体医業収支と経常収支の比率推移



### 病院全体医業収支と経常収支の金額推移



### 病院別医業収益の推移



出典：財務諸表データ

# 1. 収支等の推移

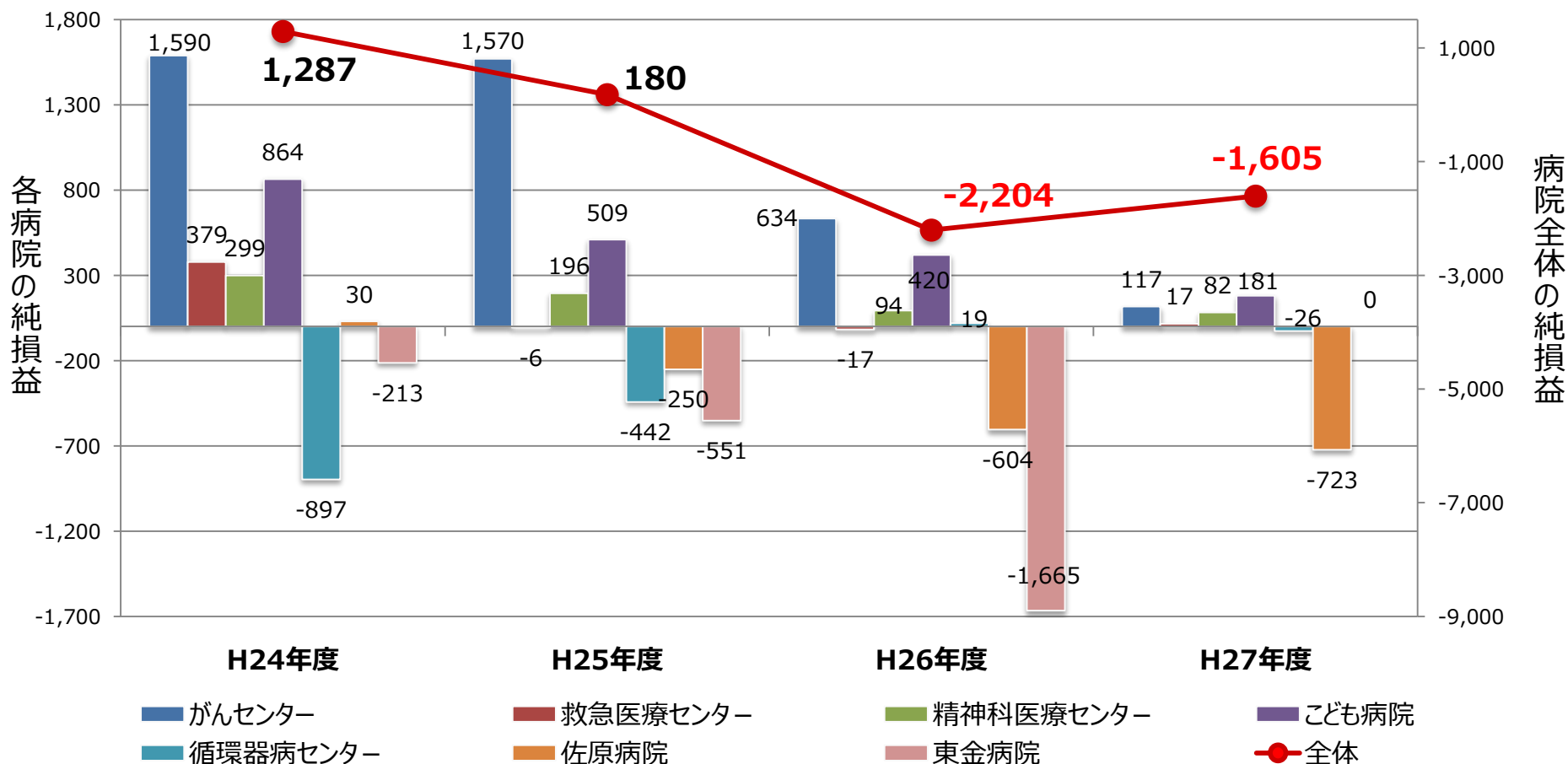
## 2) 県立病院全体の純利益（損失）の推移

- ✓ 県立病院全体の純損益は、平成24年度、25年度は黒字化を達成していたが、平成26年度以降、東金病院の閉院に伴う特別損失の計上、がんセンター、佐原病院の医業収益の減少等により、赤字に転じている。

単位：百万円

### 各病院と病院全体の純利益(損失)の推移

単位：百万円



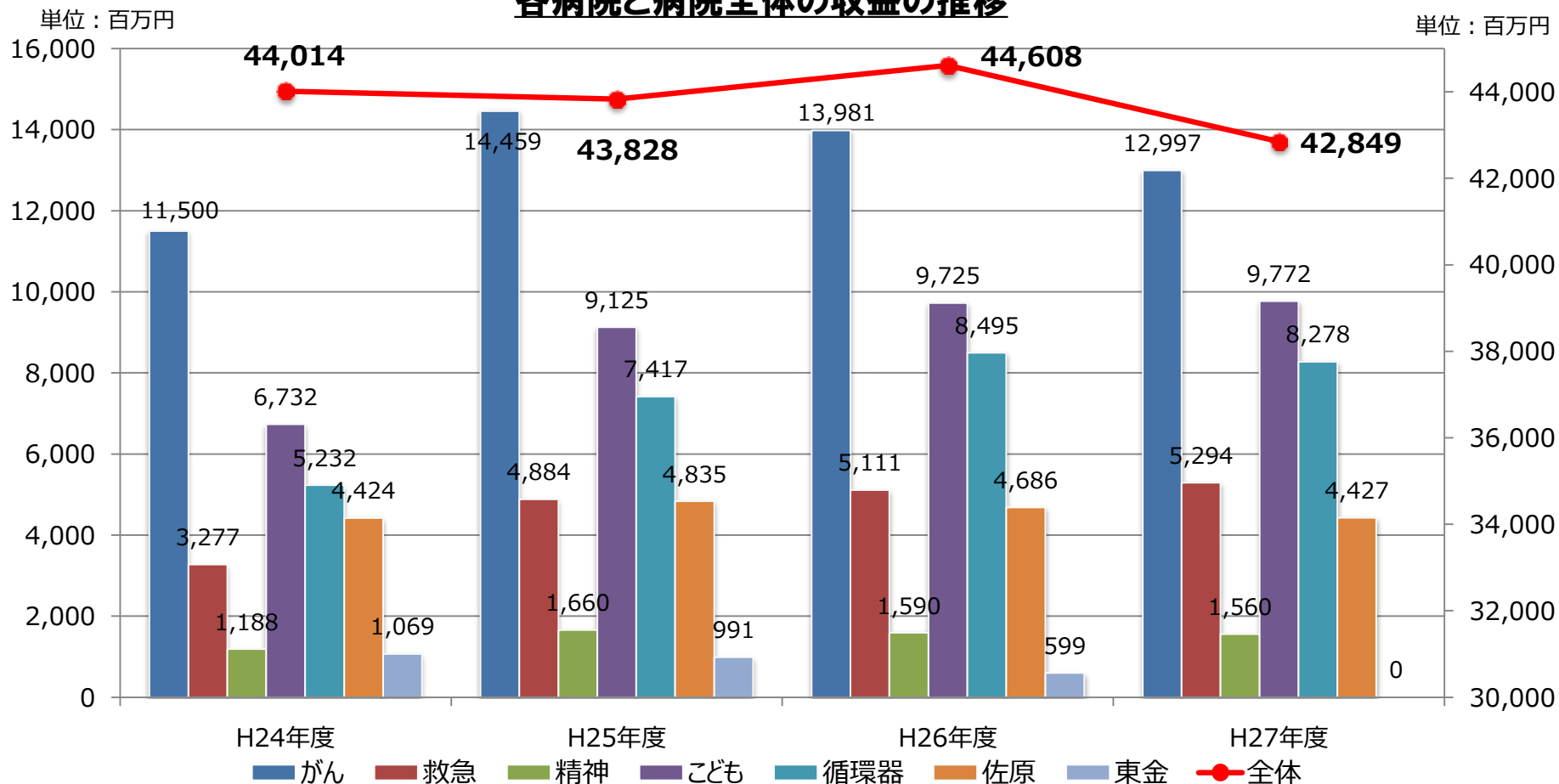
出典：財務諸表データ

※「全体」には、経営管理課の数値が含まれる

3) 県立病院全体の収益の推移

- ✓ 平成26年度は、こども病院の外来収益の増収、旧東金病院の資産除却に係る長期前受金戻入収益の計上等により、県立病院全体の収益は増加したが、平成27年度は、がんセンターの10億円の減収、循環器病センター及び佐原病院がそれぞれ約2億円の減収により、県立病院全体の収益は約20億円の減収となっている。

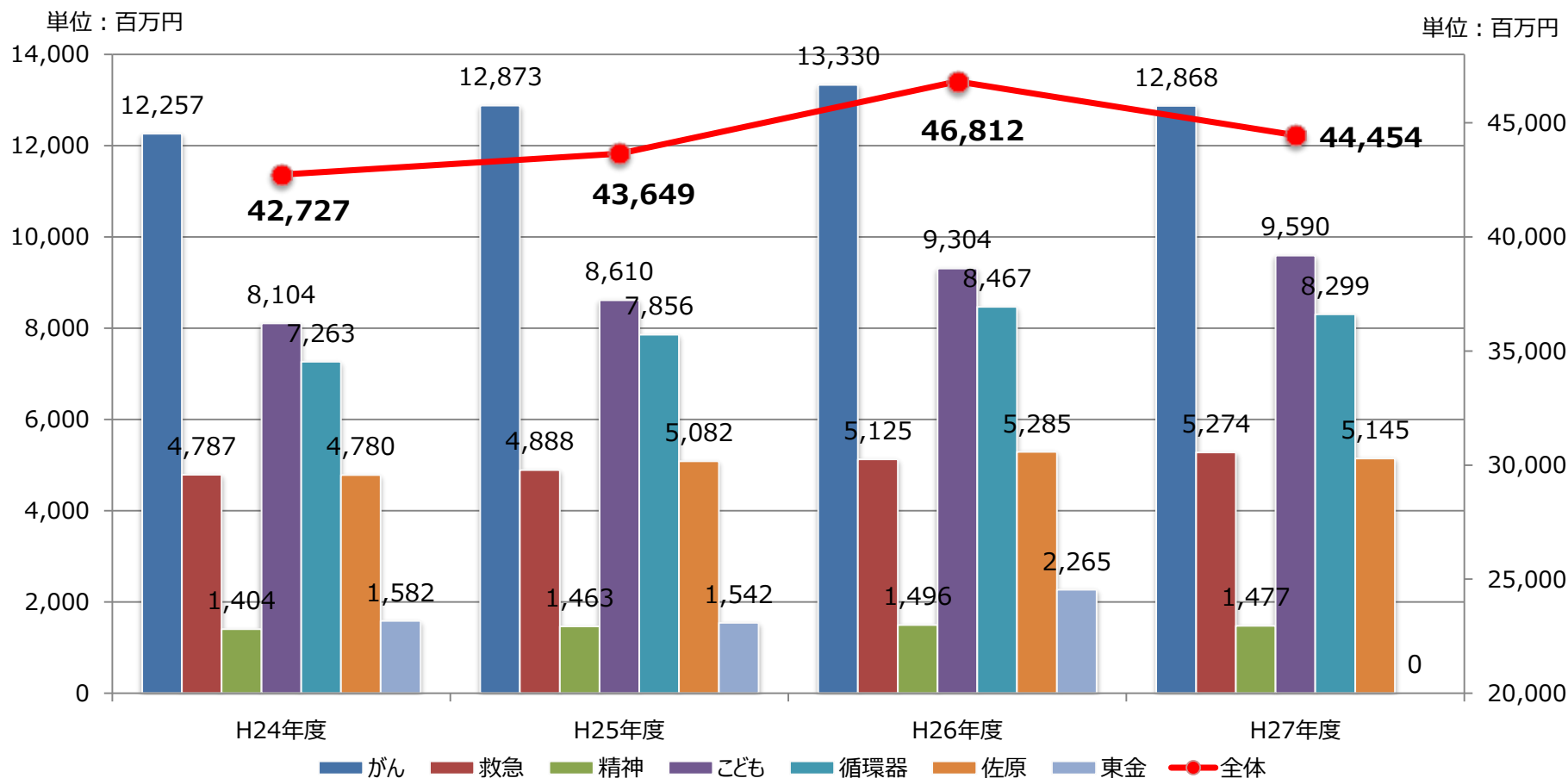
各病院と病院全体の収益の推移



4) 県立病院全体の費用の推移

✓ 平成26年度は、各病院で給与費一律カットの暫定措置期間満了による給与費の増加や消費税増税の影響、旧東金病院の閉院に係る特別損失計上などにより、前年より31億円増加したが、翌27年度は、患者数の減少による材料費の減少、特別損失の減少等により、23億円減少した。

各病院と病院全体の費用の推移



出典：財務諸表データ

※「全体」には、経営管理課の数値が含まれる

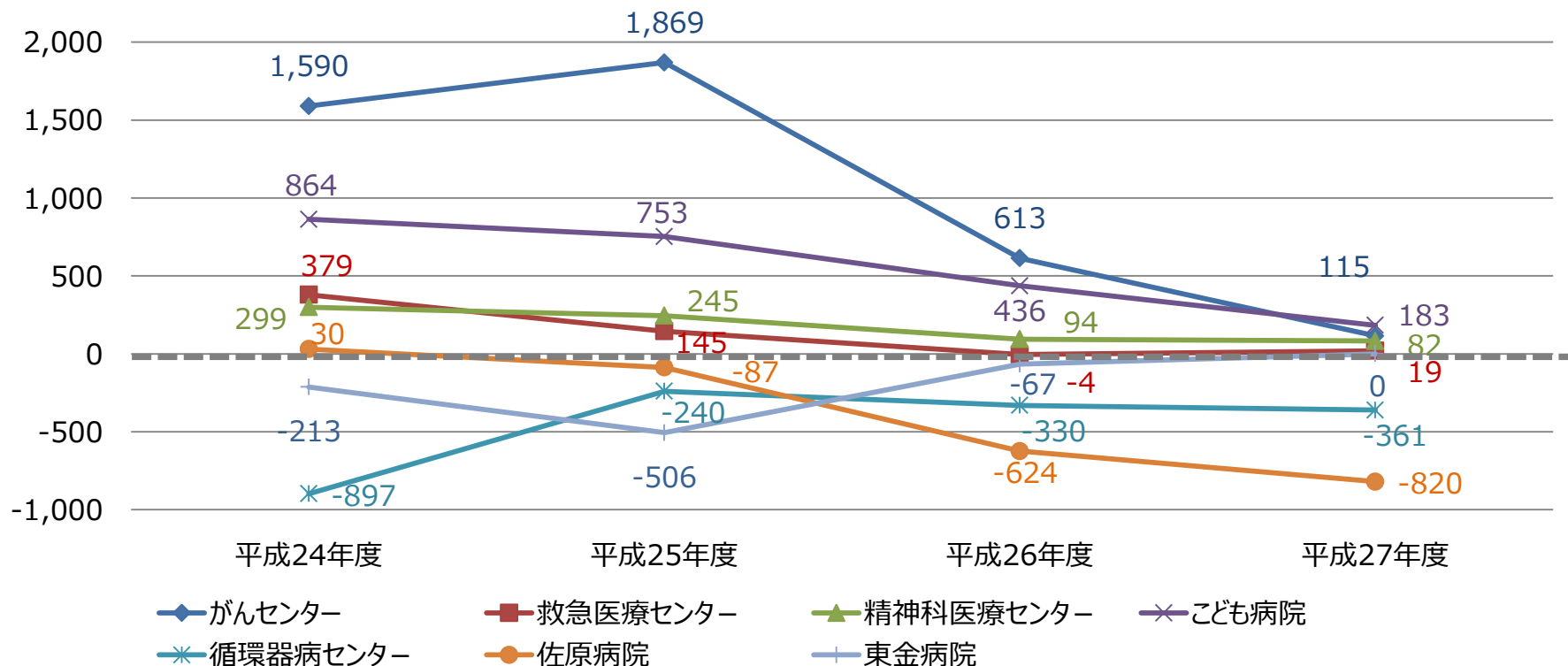
# 1. 収支等の推移

## 5) 病院別の経常損益の推移

- ✓ 平成24年度から平成25年度まで、がんセンターが15億円を超える経常利益を計上しており、県立病院全体の経常損益黒字化に貢献してきたが、平成26年度以降医療事故の影響により経常損益が著しく減少している。
- ✓ 佐原病院は、平成25年度以降医師数の減少等により赤字に転じており、平成27年度において8億円の経常損失を計上し、県立病院において最も経常損失額が大きい。
- ✓ また、各病院とも一部の病院を除き、平成26年度以降経営状況が悪化している。（詳細は後述）

### 病院別経常損益の推移

単位：百万円



出典：財務諸表データ

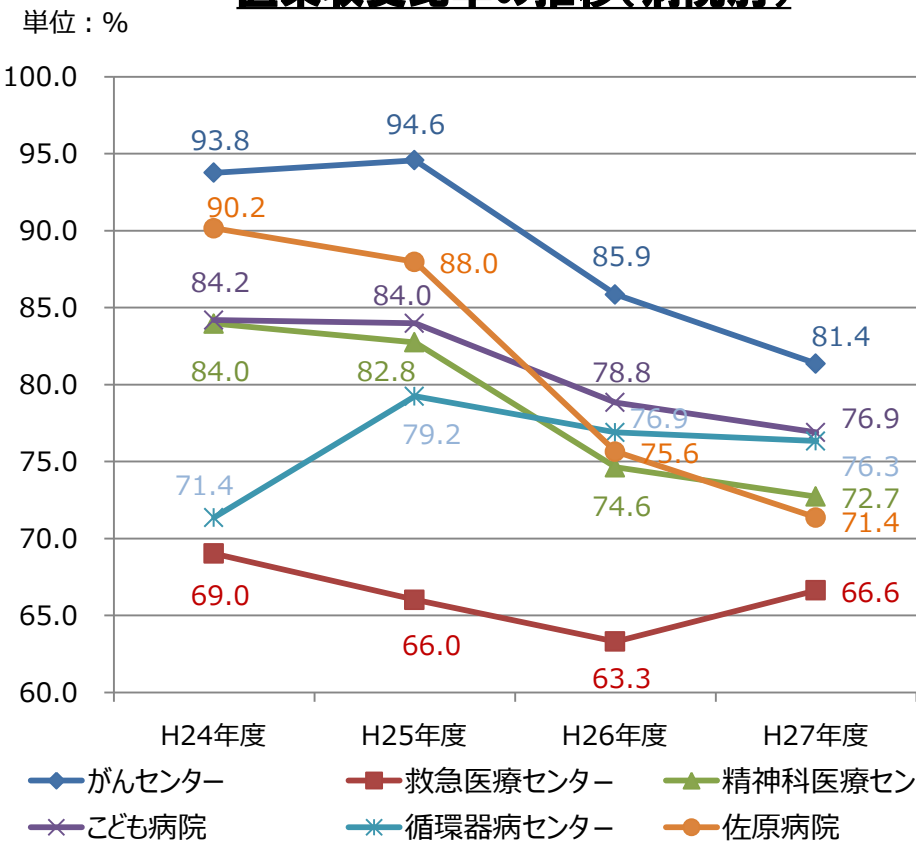


# 1. 収支等の推移

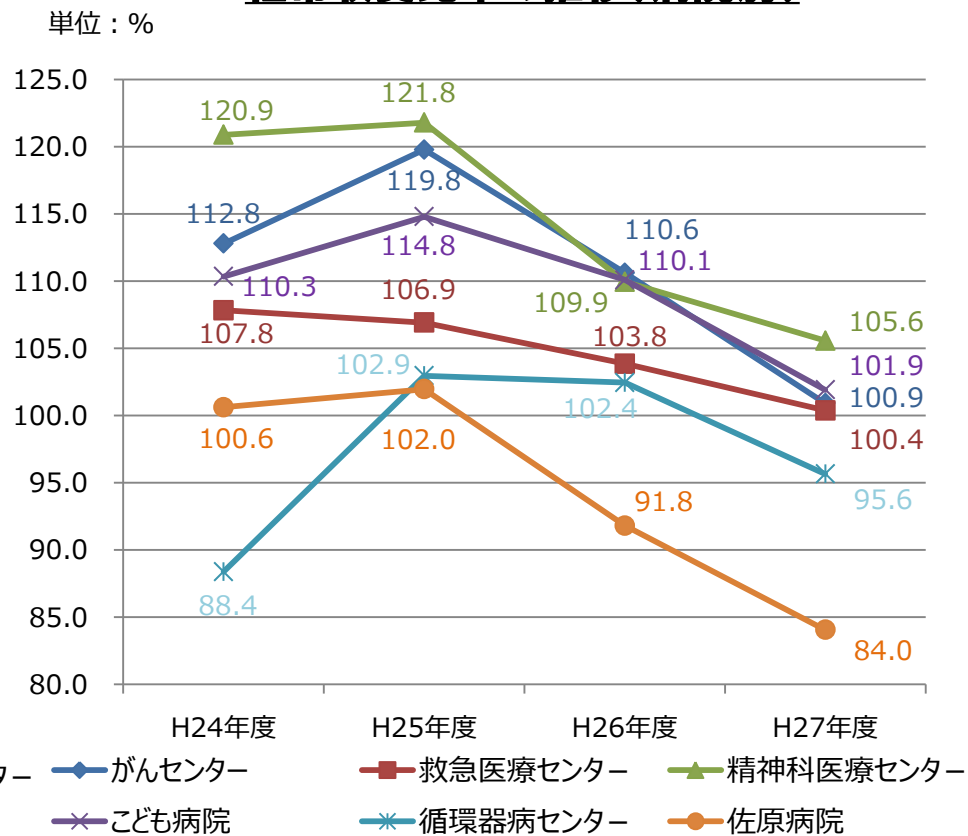
## 6) 病院別の医業収支と経常収支の推移

- ✓ 平成25年度とそれ以降の経営数値を比較すると、がんセンター、佐原病院の落ち込みが著しい。がんセンターは医療事故、佐原病院は医師数の減少が大きく影響している。
- ✓ また、各病院とも一部の病院を除き、平成26年度以降経営状況が悪化している。（詳細は後述）

### 医業収支比率の推移(病院別)

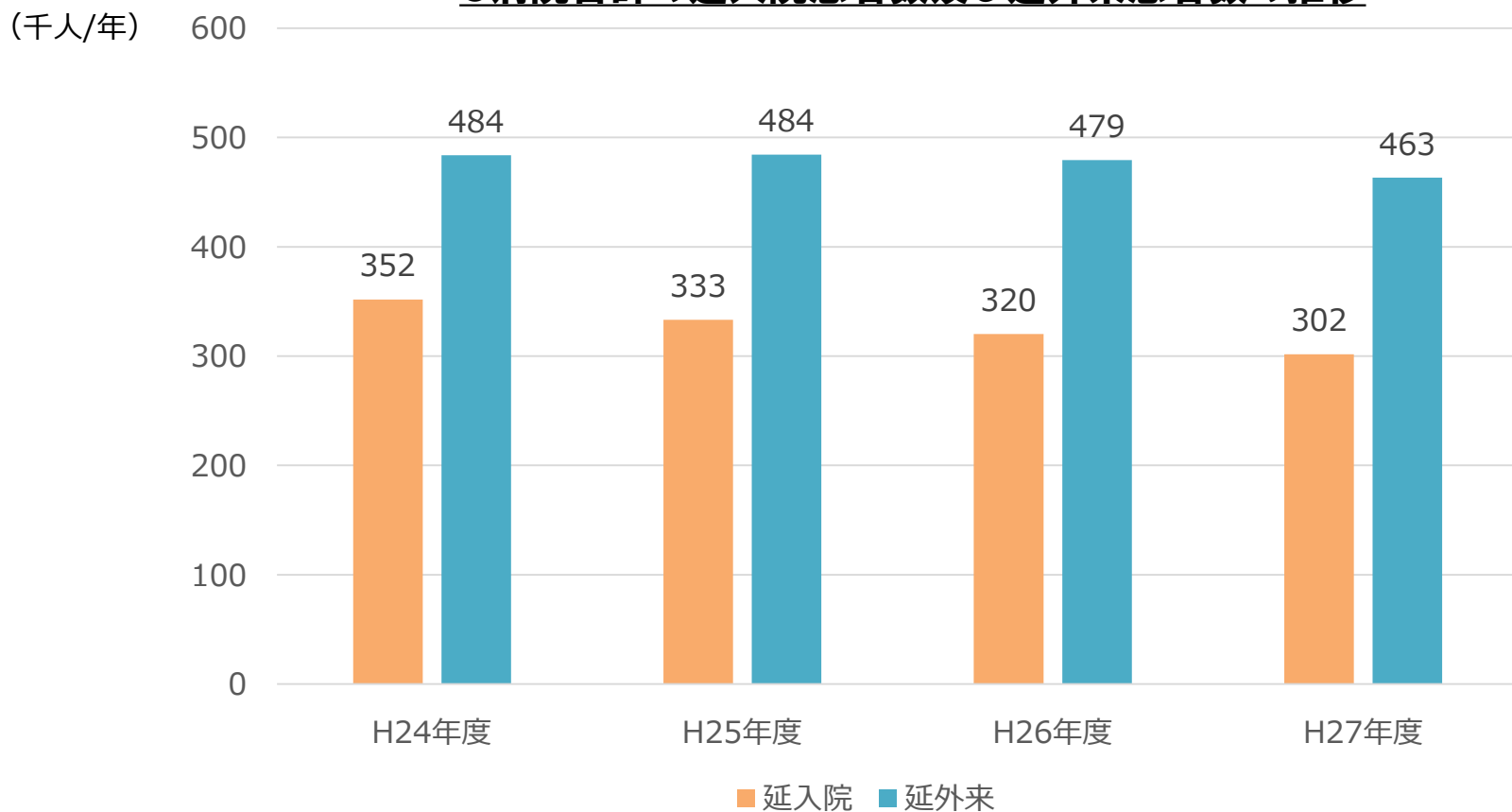


### 経常収支比率の推移(病院別)



## 1) 県立病院全体の延患者数の推移

- ✓ 県立病院全体の延入院患者数は、平成26年度から平成27年度にかけて年間▲18千人と減少が著しい。
- ✓ 延外来患者数は平成24年度以降一貫して減少しており、特に平成26年度から27年度にかけて年間▲16千人と減少が著しい。

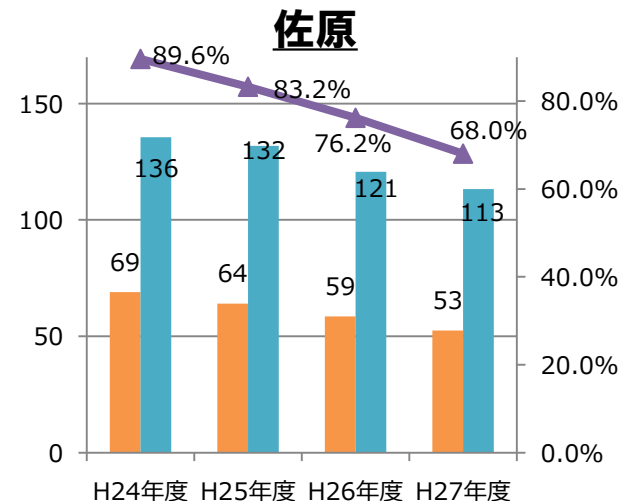
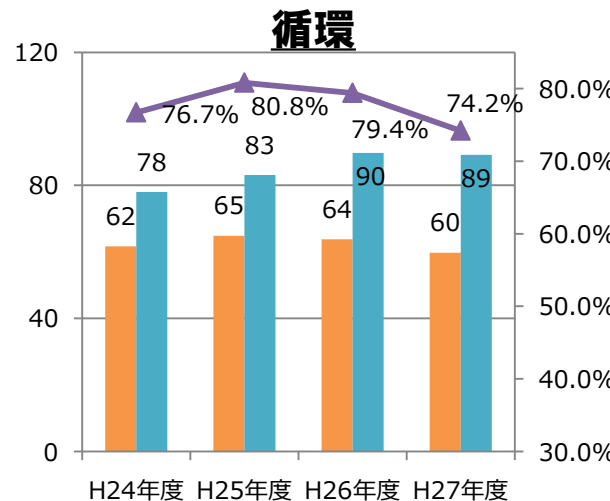
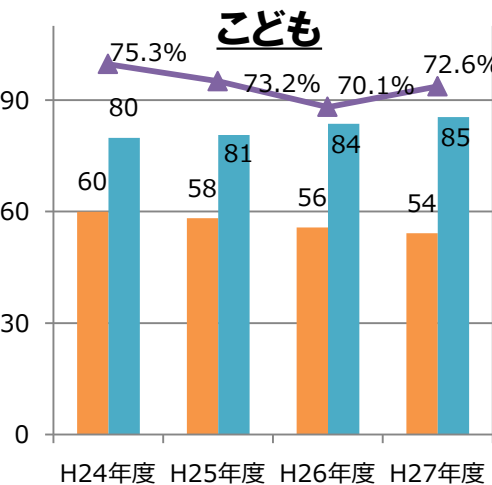
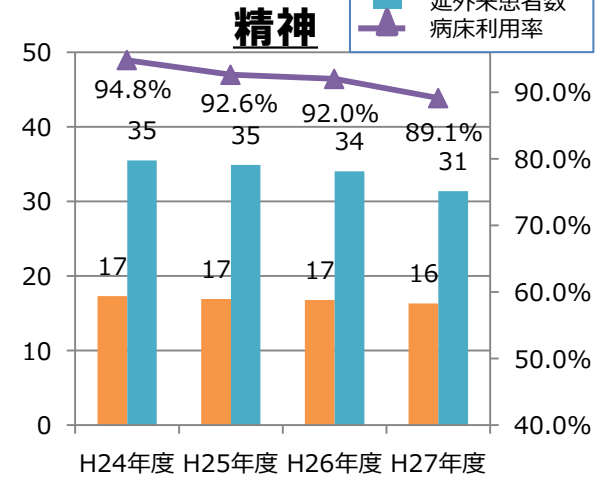
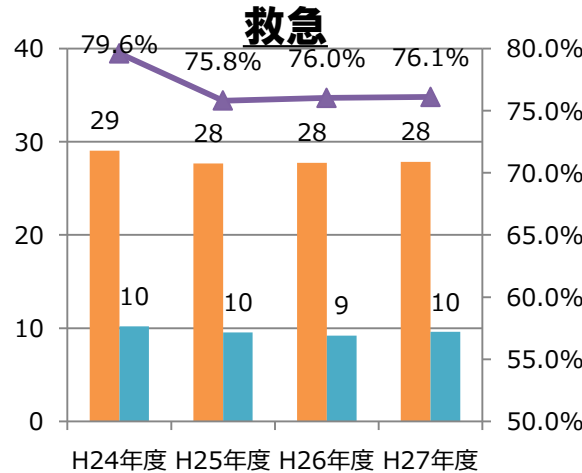
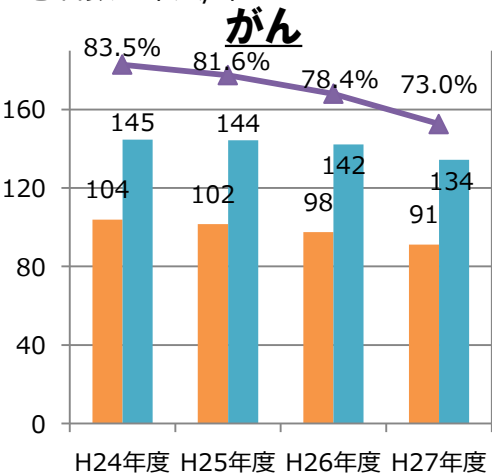
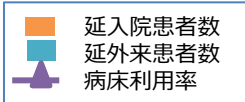
**6病院合計の延入院患者数及び延外来患者数の推移**

2) 病院別の延患者数の推移

- ✓ 延入院、延外来患者数ともに、がんセンター、佐原病院の減少が著しい。<がん> H24→27年度 入院 ▲13千人(12%減) 外来▲11千人(8%減) <佐原> 同期間 入院▲16千人(23%減) 外来▲23千人(8%減)
- ✓ 他の県立病院も、平成24年度以降延入院患者数は減少傾向にある。

出典：事業概要データ、業務量データ  
 ※患者数：千人/年

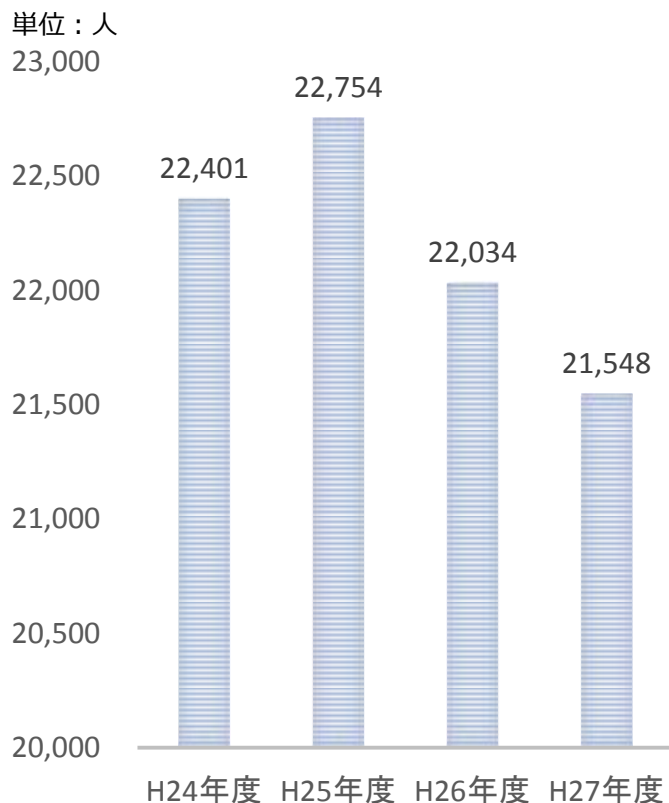
病院別延入院患者数・延外来患者数・病床利用率の推移



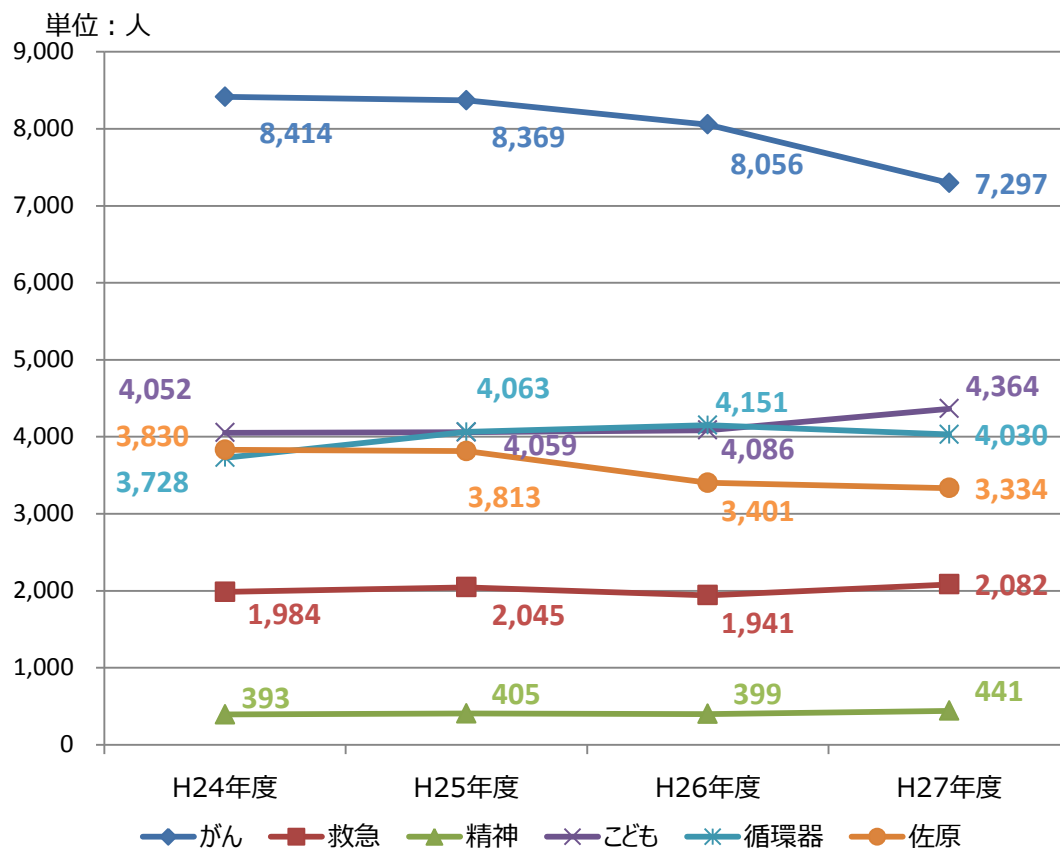
## 3) 病院別の新入院患者数の推移

- ✓ 平成26年度以降、県立病院全体の新入院患者数は減少している（H25年→H27年 ▲1,206人）。
- ✓ 要因としては、がんセンター（H25年→H27年 ▲1,072人）と、佐原病院（H25年→H27年▲479人）の患者数の減少が大きく影響している。
- ✓ 一方、こども病院、救急医療センター、精神科医療センターの新入院患者数は増加傾向にある。

## 病院全体の合計新入院患者数の推移



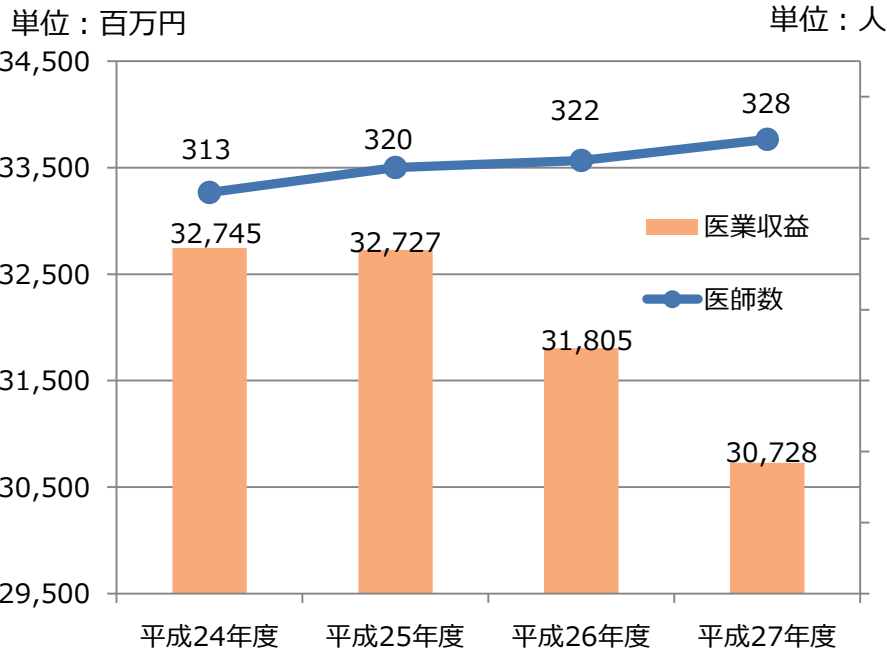
## 病院別の新入院患者数の推移



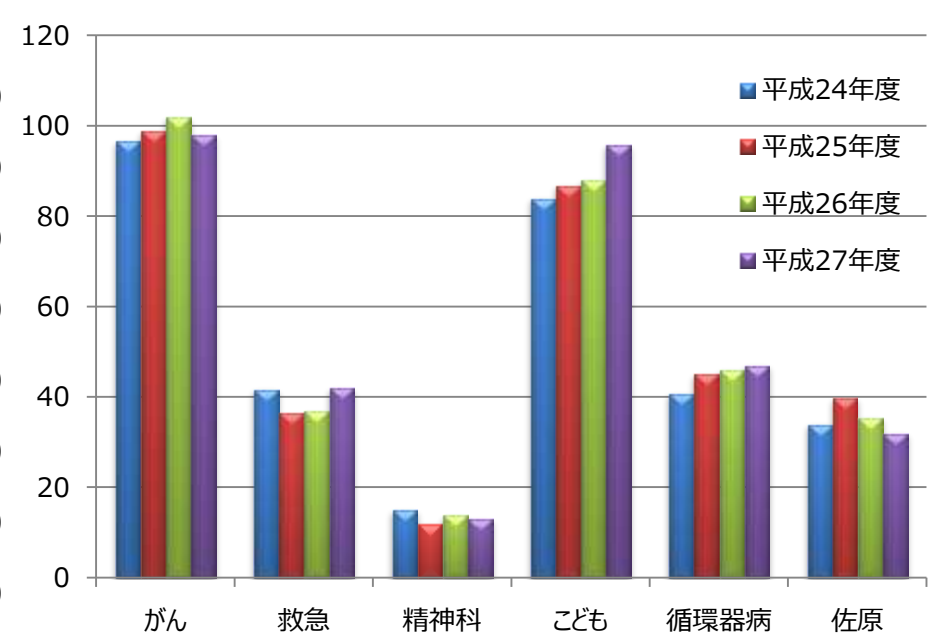
4) 県立病院全体及び各病院の医師数の推移

- ✓ 県立病院全体の医師数は増加傾向にある一方、医業収益は年々減少している。
- ✓ こども病院は、医師数が増加傾向にあり、その影響で医師1人当たり医業収益が減少している。
- ✓ がんセンターは、医師数に大きな変化はないが、医業収益が減少傾向にあり、1人当たり収益が減少している。

県立病院全体の医業収益と医師数の推移



病院別医師数の推移



病院別医師1人あたり医業収益の推移

単位：千円

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
がんセンター	114,889	115,150	105,758	100,879
救急医療センター	77,549	82,578	84,030	80,107
精神科医療センター	78,065	93,907	76,990	80,006
こども病院	79,792	76,812	79,022	72,873
循環器病センター	126,729	126,526	132,557	126,436
佐原病院	125,845	104,664	106,757	109,341

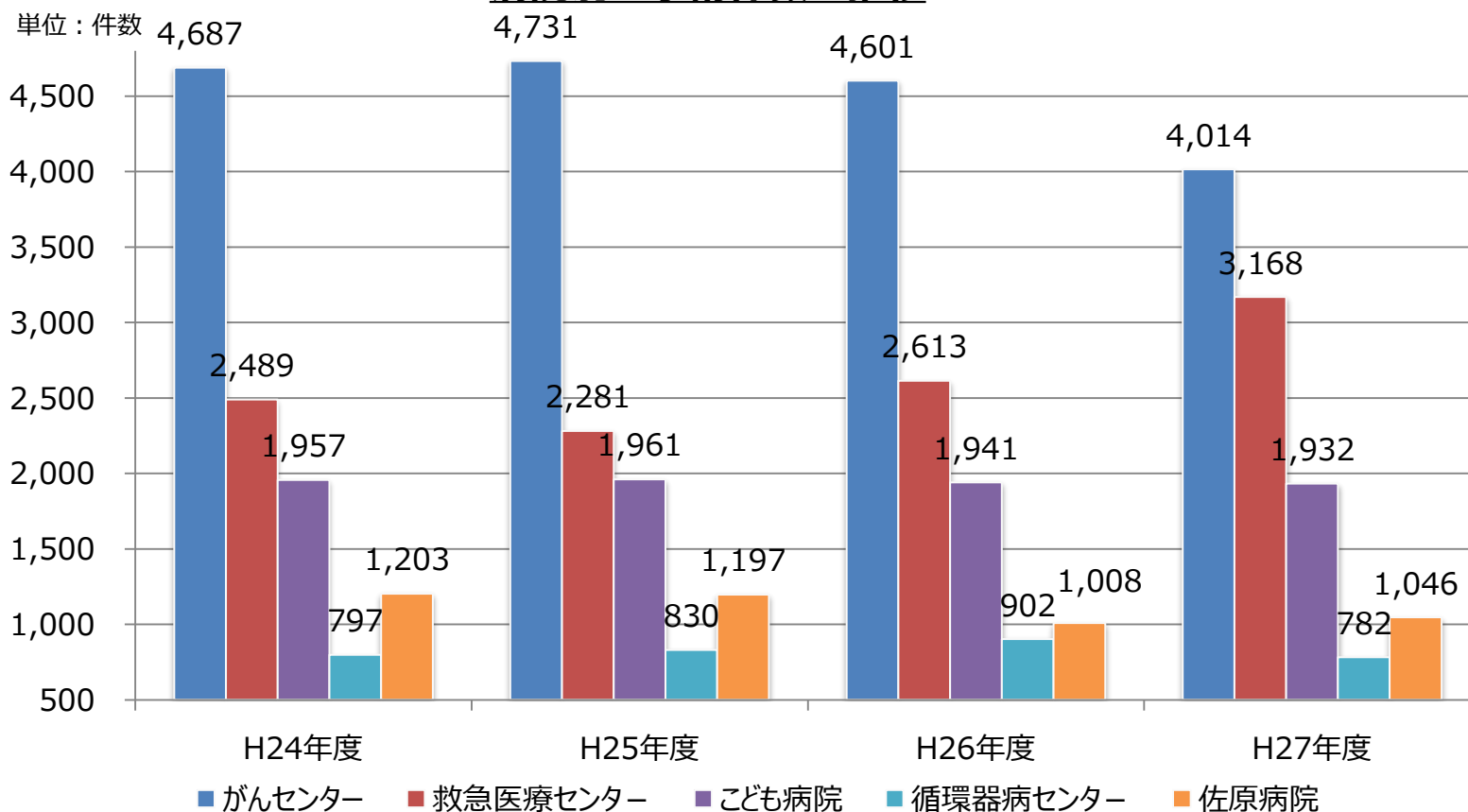
(注) 医師数は、常勤職員数及び非常勤職員を常勤換算した人数の合計

出典：財務諸表データ

## 5) 病院別の手術件数の推移

- ✓ 県立病院全体の手術件数は、平成26年度から27年度にかけて123件減少している。
- ✓ 救急医療センターの手術件数が555件増加している一方、がんセンターが▲587件、循環器病センターが▲120件減少している。

病院別の手術件数の推移



合計手術件数

11,133

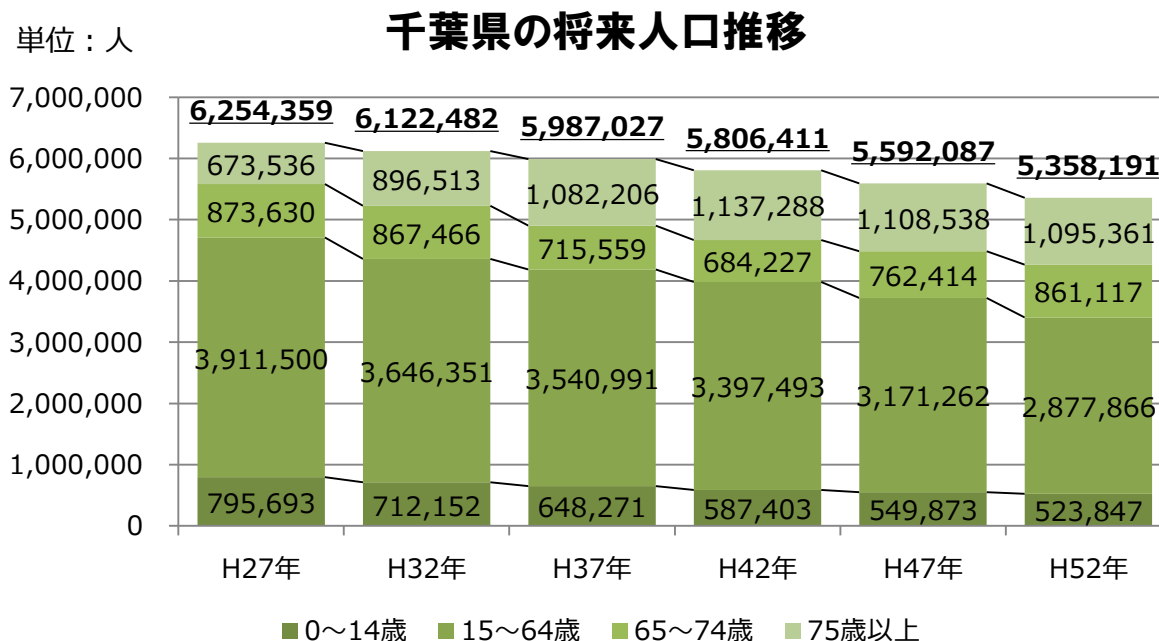
11,000

11,065

10,942

1) 千葉県の将来人口の推移

- ✓ 千葉県の将来推計人口は、平成27年以降一貫して減少する見込みである。
- ✓ 65歳以上の高齢者が増加する一方、65歳未満の人口は減少する見込みであり、少子高齢化の進展が予測される。



### 千葉県の年齢階級別人口の対H27年増加率

	H27年	H32年	H37年	H42年	H47年	H52年
0～14歳	100.0%	89.5%	81.5%	73.8%	69.1%	65.8%
15～64歳	100.0%	93.2%	90.5%	86.9%	81.1%	73.6%
65～74歳	100.0%	99.3%	81.9%	78.3%	87.3%	98.6%
75歳以上	100.0%	133.1%	160.7%	168.9%	164.6%	162.6%
合計	100.0%	97.9%	95.7%	92.8%	89.4%	85.7%

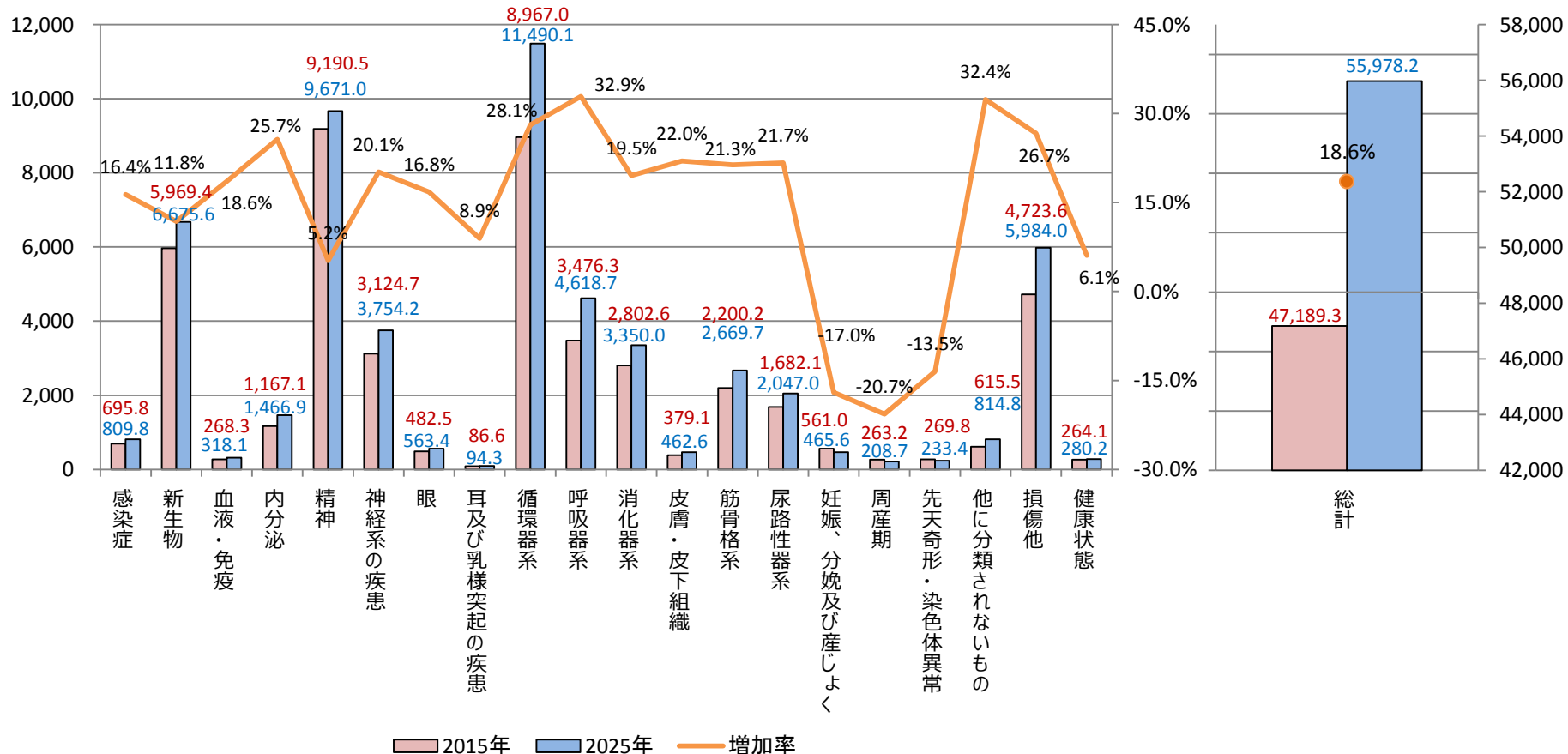
出典：千葉県地域医療構想、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（都道府県・市区町村）」

## 2) 千葉県の疾患別将来推計入院患者数

- ✓ 千葉県の2025年の疾患別将来推計入院患者数は、現状から18.6%増加する見込みである。
- ✓ 増加率が高く患者数が多い疾患は、循環器系、新生物、損傷・中毒、精神障害などである。

### 千葉県の将来推計入院患者及び増加率

単位：人



出典：国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（都道府県・市区町村）」、厚生労働省「平成26年患者調査」

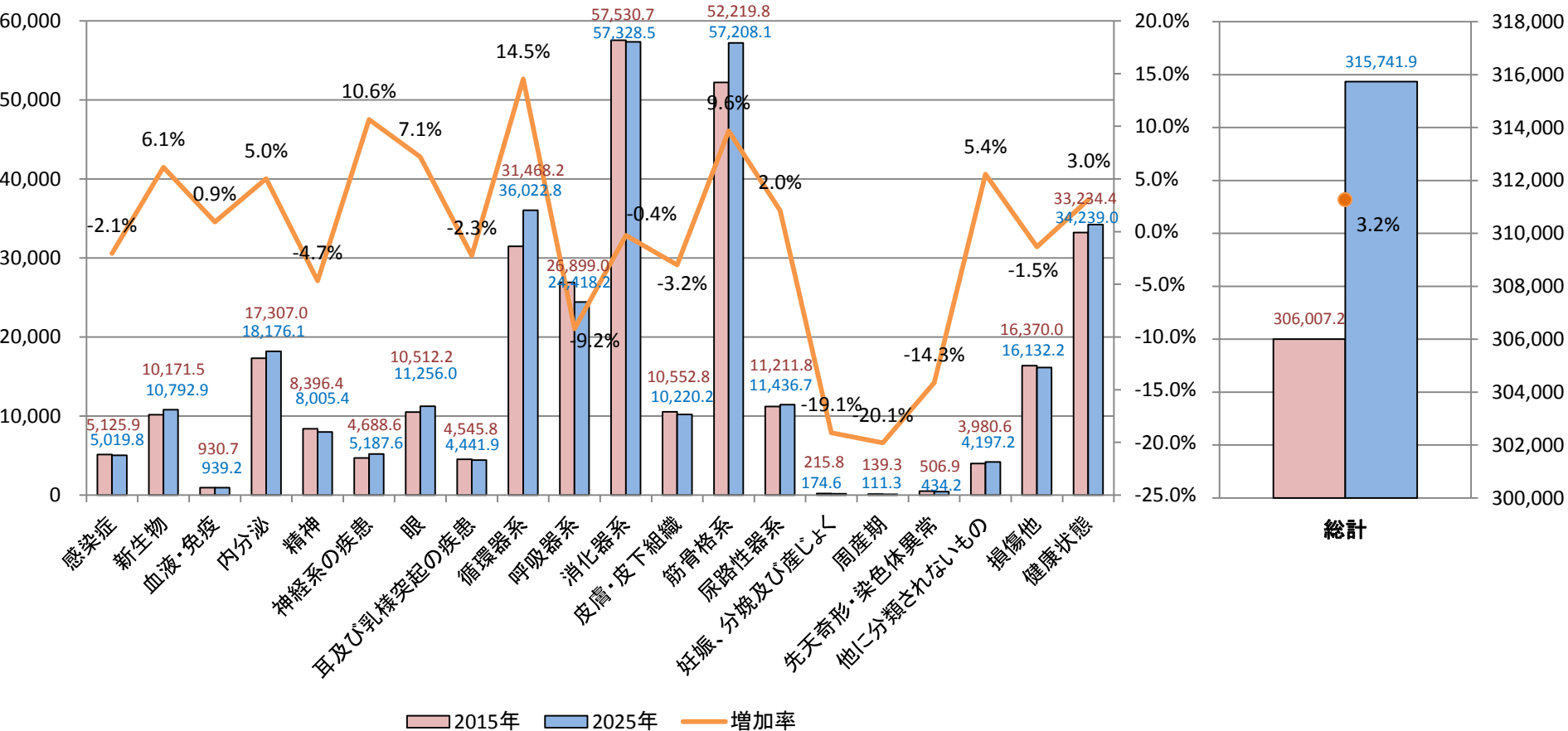


3) 千葉県の将来推計外来患者数

- ✓ 千葉県の2025年の将来推計外来患者数は、現状から3.2%増加する見込みである。
- ✓ 増加率が高く患者数が多い疾患は筋骨格系、循環器系などである。患者数は消化器系が最も多い見込みである。

千葉県の将来推計外来患者及び増加率

単位：人



出典：国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（都道府県・市区町村）」、厚生労働省「平成26年患者調査」